



一中われら

第18号

1月17日発行

(文責 校長)



【校是】 **覇 気** 【学校教育目標】 未来を主体的に切り拓いていくことのできる、
覇気ある生徒の育成

総まとめの3学期がスタート

1月14日、3学期の始業式を実施しました。コロナの感染が拡大し

ていることを考慮し、オンラインでの開催です。会議室に設置した web カメラから各クラスの電子黒板に映像を配信しました。

私からは、高校サッカー選手権優勝の熊本県立大津高校の監督がモットーとしている「考動力」の言葉を引用し、どう行動した方が自分にとって、あるいは集団にとってよりよいのか、それを常に考え、自分で判断して動くことの大切さを説きました。また、3年生には、進路実現の最終段階として心（強い気持ち）技（学力）体（体調）の3要素を整えることを、2年生には、いよいよ一中を動かす中心となるので、よかれと思うことを積極的に実行してほしいことを、1年生には、間もなく先輩となるので新入生に頼られ尊敬される存在になることを話しました。

続いての生徒代表あいさつ。1年生代表の笹村泰聖さんは、家の雪かきや寒稽古をがんばり充実した冬休みとなった。3学期は新入生の手本となれるように自身を高めていきたい、特に覇気あるあいさつに心掛けたいと決意表明してくれました。

2年生代表は渡邊正治さん。冬休み中は、練習試合をこなすとともに、スマッシュの精度を上げるよう自分自身努力した。3学期も全県大会での1回戦突破を目標としてモチベーションを維持しながらがんばっていききたい。また、後輩の手本となれるよう、常に自分で「今、何をすべきか」を考え、自立した一中生として覇気ある行動をしていきたいと力強く話してくれました。

3年生代表は鈴木竜姫さん。冬休みは「流れる水は腐らず」を心掛けて過ごした。停滞を打破し、計画的に進めていくことができたと思う。3学期は受験勉強のほか、面接に備え、生活態度、姿勢、言葉遣いなどにも気を付けていきたい。また、3年生の登校日はあと39回。残り少ないこの期間、友好を更に深め有意義に過ごしていきたい、とあいさつしてくれました。

3学期は1年の総まとめの期間であり、来年度につながる重要な学期です。目標をもってがんばっていくことを期待しています。

始業式に引き続き、鎌田先生（生徒指導主事）から、コロナ感染の誹謗中傷の絶無について指導。自分がそうされたときのことを考えればできないはず。また、中傷を恐れて、感染しても言い出せず、感染を広げてしまうことにもつながる。絶対にやめてほしいと呼びかけました。

また、船越先生（養護教諭）からは、コロナ対策のギアを上げなくてはならないことを指導。健康観察、手洗い、マスク着用、換気、人との距離の確保を今まで以上に気を付けることを話しました。

オンラインで学級へ配信

